

いよいよ10月です。入試に向けて、これまでに身につけた読解の知識をより確実なものにするためにこつこつ取り組んでいきましょう。体調を崩しやすい季節ですので、体調管理も万全に！

今月の学習内容です。

第6回～第8回は「随筆の読解」について学習します。各回の初めの導入やテキスト第6回の手前にある「随筆の読解」の解説をよく読んでから取り組みましょう。

第9回～第10回は「説明的文章の読解」について学習します。同様に、各回の初めの導入やテキスト第9回の手前にある「説明的文章の読解」の解説をよく読んでから取り組みましょう。

テキストに収録されている文章題3題の中心となる問題をそれぞれ取り扱っていますので、自分のペースで無理のないように1～2題を選んで取り組んでいきましょう。

また、後期の語句問題につきましては、w e b 教室では宿題となります。前期で学習した内容を思い出しながら取り組んでみましょう。

◆第6回 表現の工夫の意味／言葉の意味・用法Ⅱ

今回から「随筆の読解」に取り組めます。筆者の体験と、そのときに思ったり感じたりしたこと（感想）を読み解く手がかりとして、表現の工夫に着目して読んでいきましょう。

語句は「言葉の意味・用法」です。慣用表現の意味だけでなく、擬態語の使い方や助詞の使い方など様々な問題を扱っています。前期テキストとの対応はありませんので、一つ一つ丁寧に取り組みましょう。

①「本科教室」このうちの大問1題～2題を選んで取り組もう。

☺・・・問二・三・四・六・七

☹・・・問3・6・7

・・・問一・二・六・七

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・問一～四

語句問題・・・課題

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第六回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

語句・・・☺～☹

①で取り組んだ文章題の残りの問題

⑤「語句のまとめ」知識を増やすためにチャレンジ。(教室生対象)

第十三回・第十四回(品詞①・②)※助詞に関する問題があります。

◆第7回 体験と感想／文節

前回に引き続き、「随筆の読解」に取り組みます。「体験」と「感想」、そして、体験と感想のつながりをつかむことは、随筆の読解の中心になります。話の流れをしっかりと読み取って、問題に取り組みましょう。

語句は「文節」です。主語・述語・修飾語の係り受けをしっかりと考えて解きましょう。前期テキスト第29回～第31回で学習した内容が参考になります。

①「本科教室」このうちの大問1題～2題を選んで取り組もう。

⊙・・・問一・六・七・十一

Ⓐ・・・(一)・(二)・(六)・(七)

・・・問四・五

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・問一～四

語句問題・・・⊙・Ⓐ

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第七回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

語句・・・⊙～(⊕)

①で取り組んだ文章題の残りの問題

⑤「語句のまとめ」知識を増やすためにチャレンジ。(教室生対象)

特別回①(文節・主語・述語・修飾語)

◆第8回 展開と主題／品詞Ⅰ

前回に引き続き、「随筆の読解」に取り組みます。「体験」と「感想」がどのように描かれているか(展開)を手がかりにして、筆者は何を伝えたいのか(主題)を読み取りましょう。

語句は「品詞Ⅰ」です。今回は十種類ある品詞の識別に取り組む問題を扱っています。それぞれの品詞の働きを理解して解くことが大切です。前期テキスト第32回で学習した内容が参考になります。

①「本科教室」このうちの大問1題～2題を選んで取り組もう。

⊙・・・問二・三・六・八・九

Ⓐ・・・問1・3・5

・・・問三・六・八・九・十一

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・問一～五

語句問題・・・⊙・Ⓐ

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第八回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

語句・・・㊦～...

①で取り組んだ文章題の残りの問題

- ⑤「語句のまとめ」知識を増やすためにチャレンジ。(教室生対象)

第十三回(品詞①)※第6回の宿題でも取り上げましたが、品詞の識別の問題を扱っています。

◆第9回 話題と要旨／品詞Ⅱ

今回から「説明的文章の読解」に取り組めます。まずは文章全体を理解するために、「話題」と「要旨」に着目して取り組みましょう。具体的な説明や例の内容を確かめることも忘れないようにして、全文の内容を読み取りましょう。

語句は「品詞Ⅱ」です。今回は特に助詞・助動詞の識別について取り組みます。一文の内容に注目して、どのような意味で用いられているのか読み取ることが大切です。「ない」を「ぬ」に置きかえるなど、言い換えを考えることも一つの解き方になります。前期テキスト第33回～第35回で学習した内容が参考になります。

- ①「本科教室」このうちの大問1題～2題を選んで取り組もう。

㊦・・・問一・三・七・八

㊧・・・問一・二・三・七

・・・問二・八・十

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・問一～三

語句問題・・・課題

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第九回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

語句・・・㊦～㊧

①で取り組んだ文章題の残りの問題

- ⑤「語句のまとめ」知識を増やすためにチャレンジ。(教室生対象)

第十四回・第十五回(品詞②・③)※第十四回は第6回の宿題でも取り上げましたが、助詞・助動詞の識別の問題を扱っています。

◆第10回 文章構成の把握／誤文訂正Ⅰ

前回に引き続き「説明的文章の読解」に取り組めます。今回は説明的文章の読解には欠かせない「文章構成の把握」を扱います。話題(序論)となる内容がどの段落にあり、どのように文章が展開されているかを土台にして、文章全体の内容を読み取りましょう。

語句は「誤文訂正」です。言葉の対応が間違っているもの、誤った漢字などを見つけて正しく直すこ

とに組み合います。前期テキストとの対応はありませんので、一つ一つ丁寧に解いていきましょう。

- ①「本科教室」このうちの大問1題～2題を選んで取り組もう。

□・・・問1・5・6・7・8

□・・・問六・七・八・十一・十二・十三

□・・・問一・三・四

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・問一～問四

語句問題・・・課題

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

語句・・・□～□

①で取り組んだ文章題の残りの問題

- ⑤「語句のまとめ」知識を増やすためにチャレンジ。(教室生対象)

第十八回(かなづかい・誤文訂正)

10月は数の性質を2週、速さと比を2週学習します。

数の性質では、約数・倍数に関する問題と規則性に関する問題を扱います。速さと比では、比を利用して解く問題を中心に扱います。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第6回 数の性質V 数の性質

- 余りと約数
- 倍数の分布
- 約数の利用
- 分数と約数・倍数

余りがある場合は、次のような2通りの考え方があります。

(例) 6で割ると5余る数 → 6の倍数+5 (5を引くと6で割り切れる)

6の倍数-1 (1を加えると6で割り切れる)

また、余りがある場合は、割る数>余りという条件が隠れているので忘れないようにしましょう。

①「合格力完成教室」ここだけは押さえておこう。

例題1～4 演習1～4 練成問題 2, 3, 6, 7, 13

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・1～4

③「合格力完成教室」この問題にチャレンジ

練成問題 1, 4, 8, 9, 12, 17, 18

◆第7回 数の性質VI 数列の規則性・周期の規則性

- 等差数列
- 区切りを入れる
- 周期数列
- 周期を見つける

「1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, …」

この数列には、フィボナッチ数列という名前がついています。イタリアの数学者レオナルド・フィボナッチが13世紀初頭に出版した本の中でこの数列を紹介したことが名前の由来です。中学入試ではよく見る数列ですが、この数列が次のような例で紹介されています。

1つがい(おすとめす1羽ずつ)のうさぎは、生まれて2カ月後から毎月1つがいのうさぎを生む。うさぎが死なないものとする、1つがいの生まれたてのうさぎがどのように増えるかを並べたものがこの数列で、12カ月後には1つがいのうさぎが233つがいになります。

①「合格力完成教室」ここだけは押さえておこう。

例題 1～4 演習 1～4 練成問題 3, 5, 7, 10

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・1～5

③「合格力完成教室」この問題にチャレンジ

練成問題 4, 6, 8, 9, 12

◆第8回 速さと比Ⅳ 三公式と比の利用・流水算

●速さの三公式

●進行グラフと平均の速さ

●速さと比

●流水算

速さの問題では、比を利用して解くと計算が簡単になるものが少なくありません。速さの計算では、時間を分数で表わすことが多いので、公式を使って問題を解くと計算が大変になりますが、比を利用すると簡単になることがよくあります。次の例を公式を使う場合と比を使う場合で比べてみましょう。

(例) 時速 3.6 km で 4 分 40 秒かかる道のりを、時速 12.6 km で走ると何分何秒かかりますか。

$$\text{(公式)} \quad 3.6 \times 1000 \div 60 = 60 \text{ (m/分)} \quad 60 \times 4 \frac{40}{60} = 280 \text{ (m)}$$

$$12.6 \times 1000 \div 60 = 210 \text{ (m/分)} \quad 280 \div 210 = 1 \frac{1}{3} \text{ (分)} \rightarrow 1 \text{ 分 } 20 \text{ 秒}$$

$$\text{(比)} \quad \text{速さの比} \quad 3.6 : 12.6 = 2 : 7 \rightarrow \text{時間の比} \quad 7 : 2$$

$$4 \frac{40}{60} \times \frac{2}{7} = 1 \frac{1}{3} \text{ (分)} \rightarrow 1 \text{ 分 } 20 \text{ 秒}$$

①「合格力完成教室」ここだけは押さえておこう。

例題 1～4 演習 1～4 練成問題 4, 7

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・1～4

③「合格力完成教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

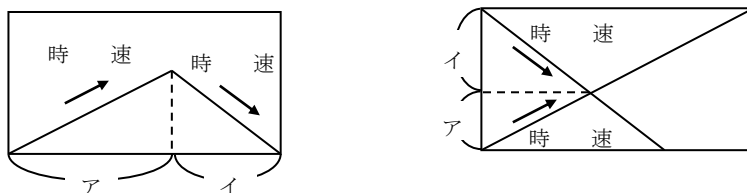
練成問題 2, 3, 5, 6, 8, 9

◆第9回 速さと比V 旅人算と比の利用・通過算

- 旅人算
- 旅人算と比の利用
- 旅人算の進行グラフと比の利用
- 通過算

速さの問題では、比を利用することだけでなく、進行グラフを利用することも大切です。また、グラフの形を見れば、どのように比が使えるかを覚えておくと役に立ちます。よく使うものの例をあげておきます。

速さの比はどちらも3：5ですが、左ではア：イ＝5：3、右ではア：イ＝3：5になります。



①「合格力完成教室」ここだけは押さえておこう。

例題1～4 演習1～4 練成問題 1, 5

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・1～4

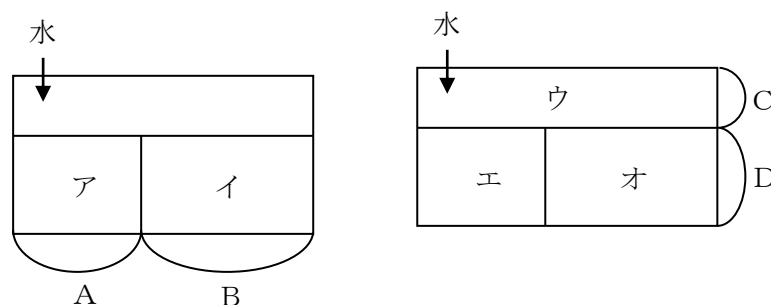
③「合格力完成教室」この問題にチャレンジ

練成問題 2, 3, 4, 6

◆第10回 速さと比VI 図形上の点の移動と比の利用、水そうグラフ、時計算

- 図形上の点の移動
- 水そうグラフ1・2
- 時計算

図形上の点の移動では、移動する点が角を曲がるときに面積の変化を表すグラフも折れ曲がるのが原則です。水そうグラフでは、水の体積を考えて立体図形の問題として解く方法と、グラフの変化する様子を考えて速さの問題として解く方法があります。また、仕切りのある水そうの問題では、次のように比を利用して解く方法も大切です。下の図で、アとイに水を入れるのにかかる時間の比が分かれば、AとBの底面積の比が分かります。ウとエ+オに水を入れるのにかかる時間の比が分かれば、CとDの高さの比が分かります。



時計算は、長針（分速6度）が短針（分速0.5度）を追いかける旅人算です。単純な時計算だけでなく、円周上を点が移動する場合に、速さを角度で表わして時計算のように解く問題も解けるようにしておきましょう。

① 「合格力完成教室」ここだけは押さえておこう。

例題 1～4 演習 1～4 練成問題 1, 2, 5, 9

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

基本演習・・・1～4

③ 「合格力完成教室」この問題にチャレンジ

練成問題 4, 11, 12, 14, 16

10月は数の性質を2週、速さと比を2週学習します。どちらも中学入試では大切な単元です。動画をしっかりと見て、問題の解き方を身につけてください。

◆第6回 数の性質V 数の性質

[25] 既約分数の「個数」と「和」はセットで考えます。分母の35を素因数分解すると、 5×7 となるので、分子が5の倍数か7の倍数のときに約分できます。既約分数となるのは、分子が5の倍数でも7の倍数でもないときと言い換えることができ、結果的には(1)では、分子1から35までの整数のうち、5でも7でもわり切れない整数は何個ありますか。という問題になります。また、(3)の「和」では、前から1番目と後ろから1番目の既約分数の和は「1」、前から2番目と後ろから2番目の既約分数の和は「1」、前から3番目と後ろから3番目の既約分数の和は「1」、…となることを利用しましょう。

[38] 約数の個数が奇数個もつ整数は平方数であることを利用します。例えば、平方数ではない $12 = 1 \times 12 = 2 \times 6 = 3 \times 4$ のように、2つの積に分けると必ずペアができますが、平方数の $16 = 1 \times 16 = 2 \times 8 = 4 \times 4$ と、ペアが一致することになります。

◆第7回 数の性質VI 数列の規則性・周期の規則性

[20] 新しい直線を引くと、それまでに引いてある全ての直線と交わります。例えば、5本目の直線を引くと、それまでに引いてある4本の直線と交わるので、交点が4個増えます。□本目の直線を引くと□個の交点が増えることになります。交点の数を並べると、[8]と同じ三角数になっています。

[25] 2けたの整数10を「1と0」と数字を分けて数える問題を「けたばらし」といいます。1けた(1～9)は使う数字は1個ですが、2けた(10～99)は使う数字が2個、3けた(100～999)は使う数字が3個、…となります。また、使われる整数の個数もけた(一の位、十の位、…)に分けて考えることが重要になります。

◆第8回 速さと比IV 三公式と比の利用・流水算

同じ道のりを異なる速さで進むとき、速さの比とかかる時間の比は逆比になります。速さで比を利用する問題では、この考え方がよく出てきます。今回は、[18], [22], [25], [28], [31]で使います。

◆第9回 速さと比V 旅人算と比の利用・通過算

今回は、問題に合わせて自分で進行グラフをかくと分かりやすい問題がたくさんあります。

[26] グラフの形が平行四辺形になります。これは、同じ速さで進む場合、グラフが平行になるためです。また、平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいので、この問題でCとBが歩いた道のりは同じになります。

◆第 10 回 速さと比Ⅵ 図形上の点の移動と比の利用、水そうグラフ、時計算

時計の長針と短針は約 1 時間に 1 回重なりますが、1 日 (24 時間) で 24 回重なりません。重なる回数は 22 回です。午前 11 時から午後 1 時の 2 時間で重なるのは正午の 1 回だけです。午後 11 時から午前 1 時についても同じです。このため、24 回より 2 回少なく 22 回になります。これを計算で求めると次のようになります。

長針と短針が重なってから次に重なるまでの時間は、 $360 \div (6 - 0.5) = \frac{720}{11}$ (分) です。

1 日は、 $60 \times 24 = 1440$ (分) なので、 $1440 \div \frac{720}{11} = 22$ (回) となります。

これを利用すると、長針と短針が一直線になるのは同じ 22 回で、直角になるのは 44 回になります。長針と短針が重なってから次に重なるまでの間に、一直線になるのは 1 回しかありませんが、直角になるのは 2 回あるからです。直角以外の角度 (180 度は除く) もすべて 44 回あります。

10月の理科は「力の計算」「水溶液」について学習します。どちらも計算問題がメインの分野です。解く手順を丸暗記するのではなく、問題で取り上げられた数量にどのような規則性があるのかを考えながら問題に取り組んでいきましょう。まちがえた問題はもう一度自分で解き直すことが大切です。解答を写すだけで終わらないようにしましょう。

◆第6回 力の計算Ⅰ

ばねとてこに関する問題を解いていきましょう。ただ公式に当てはめるのではなく、求める数値は何かという目的意識をはっきりさせて、問題を解きましょう。

①動画内容

- ・ワンポイント講義…動画を見ながら、〈確認してみよう〉を解いていきましょう。
- ・問題解説…練成問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3}$ ／発展問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{4}$

②必ず解いてみよう

- ・〈確認してみよう〉全部
 - ◎基本を中心とする学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$
 - ◎応用力も問われる学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{4}$
- ・理科のまとめ 37・38回(教室生対象)
- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{1} \sim \boxed{4}$ 問題研究 $\boxed{1}$

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・栄冠への道 問題研究 $\boxed{2} \cdot \boxed{3}$

◆第7回 力の計算Ⅱ

滑車、輪じく、浮力、ふり子、物体の運動に関する問題を解いていきましょう。今回は確認すべき単元がおおいので、1つ1つ解き方を確認していきましょう。

①動画内容

- ・ワンポイント講義…動画を見ながら、〈確認してみよう〉を解いていきましょう。
- ・問題解説…練成問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ ／発展問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{5}$

②必ず解いてみよう

- ・〈確認してみよう〉全部
 - ◎基本を中心とする学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1}$
 - ◎応用力も問われる学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{5}$
- ・理科のまとめ 39～42回(教室生対象)
- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{1} \cdot \boxed{4}$ 問題研究 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{4}$

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{2} \cdot \boxed{3}$ 問題研究 $\boxed{3} \cdot \boxed{5}$

◆第8回 水溶液①

水溶液の性質と溶解度について、確認しましょう。水溶液の性質や、とけている物質の名前などの知識をもう一度整理しましょう。また、溶解度の計算方法について、さまざまな問題を通し理解を深めましょう。

①動画内容

- ・ワンポイント講義…動画を見ながら、理科授業用シートを書き込んでいきましょう。
- ・問題解説…練成問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2}$ ／発展問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{6}$

②必ず解いてみよう

- ・「理科授業用シート」の内容を復習する。
- ・〈確認してみよう〉全部
 - ◎基本を中心とする学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2}$
 - ◎応用力も問われる学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{6}$
- ・理科のまとめ 45・46・53回(教室生対象)
- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{1} \sim \boxed{3}$ 問題研究 $\boxed{1} \sim \boxed{3}$

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・栄冠への道 問題研究 $\boxed{4}$

◆第9回 水溶液②

中和反応、金属と水溶液に関する問題を解いていきましょう。過不足なく、ちょうど反応する量を見つけて、それをもとに、計算することが大切です。図や式を紙に書く習慣を身につけましょう。また、表やグラフを丁寧に読み、何を表しているかを読み解いていきましょう。

①動画内容

- ・ワンポイント講義…動画を見ながら、理科授業用シートを書き込んでいきましょう。
- ・問題解説…練成問題 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ ／発展問題 $\boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{5}$

②必ず解いてみよう

- ・「理科授業用シート」の内容を復習する。
- ・〈確認してみよう〉全部
 - ◎基本を中心とする学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1}$
 - ◎応用力も問われる学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{5}$
- ・理科のまとめ 47・54・55回(教室生対象)
- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{1} \sim \boxed{4}$ 問題研究 $\boxed{1} \cdot \boxed{3}$

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・栄冠への道 問題研究 $\boxed{2} \cdot \boxed{4}$

◆第10回 気体と燃焼

酸素・二酸化炭素の発生とろうそくの燃え方、割りばしのむし焼きに関する内容です。酸素・二酸化炭素の性質、作り方を整理しましょう。また発生量の計算方法も再確認しましょう。ろうそくやむし焼きに関する知識も合わせて確認しましょう。

① 動画内容

- ・ワンポイント講義…動画を見ながら、〈確認してみよう〉を解いていきましょう。
- ・問題解説…練成問題 $\boxed{1}$ ／発展問題 $\boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{6}$

② 必ず解いてみよう

- ・〈確認してみよう〉全部
 - ◎基本を中心とする学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$
 - ◎応用力も問われる学校対策…〈練成問題〉 $\boxed{1} \cdot \boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4}$ 〈発展問題〉 $\boxed{2} \cdot \boxed{3} \cdot \boxed{4} \cdot \boxed{6}$
- ・理科のまとめ 48～52回
- ・栄冠への道 基本演習 $\boxed{1} \sim \boxed{4}$ 問題研究 $\boxed{1} \sim \boxed{3}$

③ 「栄冠への道」この問題にチャレンジ

- ・栄冠への道 問題研究 $\boxed{4} \cdot \boxed{5}$

◆第6回 都市と交通

今回は、日本の人口、都市の発達、交通の発達などについて学習します。「都市と交通」の単元は、農業や工業をふくめた地理分野の総合問題として入試に出題されます。しっかりと取り組みましょう。

①「合格力完成教室」練成問題 ここだけはおさえておこう

- 1 政令指定都市に関する問題です。
- 4 日本の交通機関に関する問題です。各交通機関の長所と短所などについて確認しましょう。
- 7 日本のおもな新幹線のルートに関する総合問題です。解くのに幅広い知識が必要です。

②前期「本科教室」を見直してみよう

第22回 5 ※統計資料の年度は「合格力完成教室」が最新のものです。

③「栄冠への道」

P22、23・・・1～4

◆第7回 資源と貿易

今回は、日本の資源、日本の貿易などについて学習します。「資源と貿易」の単元は、工業の単元とつながるので、まずしっかりと日本の工業に関する知識が必要です。そういうことを考えながら、しっかりと取り組みましょう。

①「合格力完成教室」練成問題 ここだけはおさえておこう

- 1 日本の貿易に関する問題です。資源の輸入先や発電割合について確認しましょう。
- 3 日本の産業に関する問題です。
- 4 エネルギーや資源に関する問題です。おもな発電方法や発電所の特徴について確認しましょう。
- 5 日本の貿易に関する問題です。主要輸入品の輸入先や国別輸入品目の割合について確認しましょう。
- 6 日本の貿易に関する問題です。おもな世界の国の位置などについて確認しましょう。

②前期「本科教室」を見直してみよう

第21回、第23回 ※統計資料の年度は「合格力完成教室」が最新のものです。

③「栄冠への道」

P26、27・・・1～5

◆第8回 政治・法制史

第8回～第11回までは歴史分野を学習します。時代ごとで区切るのではなく、あるテーマにもとづき、日本の歴史の流れをおさえます。

今回は政治制度の流れ、法制史などについて学習します。

①「合格力完成教室」練成問題 ここだけはおさえておこう

- 1 歴史資料にもとづいた問題です。(A)～(J)の資料はすべて入試にもよく出る資料です。

② 下関条約とポーツマス条約に関する問題です。

④ 江戸時代までの各時代におきた争いに関する問題です。年代（時代）整序の問題は入試にもよく出題されます。これを機に慣れていきましょう。

⑤ 明治～昭和時代にかけての政治の流れに関する問題です。前後の文をよく読み、空所にどのような語句を補充すればよいのかを考えながら取り組みましょう。

②「栄冠への道」

P 3 0、3 1・・・年表、①・②

◆第9回 社会・経済史

今回は、各時代の社会の変化（土地制度、産業の発展、近代工業の発展など）について学習します。

①「合格力完成教室」練成問題 ここだけはおさえておこう

① 貨幣を中心とした経済に関する問題です。2024年に発行された新紙幣の肖像もあらためて確認しておきましょう。

② 太閤検地に関する問題です。

⑤ 農業史を中心とした問題です。各時代の特色を確認しましょう。

⑥ 各時代の人びとのくらしに関する問題です。年代（時代）整序の問題が難しいですが、しっかりと取り組んでください。

②「栄冠への道」

P 3 4、3 5・・・年表、①・②

◆第10回 外交史

今回は、各時代の対外関係史について学習します。とくに中国と朝鮮との関わりについてはよく入試に出題されます。中国の王朝の移り変わりや日本とのつながりを意識しましょう。また、明治時代以降は諸外国との戦争をきっちりと確認しましょう。

①「合格力完成教室」練成問題 ここだけはおさえておこう

① 貿易に関する問題です。年表で流れを確認し重大な各時代のできごとを確認しておきましょう。

② 古代から明治時代までの外交に関する問題です。中国の王朝名や不平等条約（安政の五カ国条約）の改正内容についてしっかりと確認しましょう。

⑥ 日本と深い関わりのある国（中国の王朝）などに関する問題です。歴史上の人物とからめて覚えていくことが大切です。江戸時代に鎖国をおこなった理由や江戸時代末期の輸出入品目、おもな相手国を確認しましょう。

⑦ 明治時代以降に日本が獲得した領土などに関する問題です。とくに日清戦争や日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、どこの領地を獲得したのかをしっかりと確認しましょう。

②「栄冠への道」

P 3 8、3 9・・・年表、①～③